

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1863回例会

令和7年7月31日
18:30～19:30



創立40周年

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 西郷村スポーツ推進委員会委員長 西郷村部活動地域移行コーディネーター NPO法人西の郷スポーツクラブ副理事長 高橋ひろ子様

<CKB実行委員会>

- 矢吹中学校 青木哲也先生
- 大信中学校 大平健先生
- 西郷第一中学校 水野谷亮先生
- 白河第二中学校 村上徳信先生
- 表郷中学校 引地琳先生

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（先週の納涼例会、多くの出席頂きありがとうございました。本日、高橋様卓話、CKB役員の先生方、ありがとうございました。）
- 運天直人幹事（高橋様、卓話ありがとうございました。またCKBの先生方ようこそ。本年も子供達の笑顔のためによりしくお願い致します。）
- 関谷亮一会員（先週の納涼会大変楽しく過ごせました。親睦委員会の皆様御苦勞様でした。当農園の野菜をお使い頂きありがとうございました。）
- 居川孝男会員（CKB実行委員会役員のみな様そして高橋様、卓話ありがとうございました。私達西RC野球部は二本松RCとの練習試合で年を考えずプレーをする人がいて、ケガをしてしまいました。年齢と体力はなかなかむずびつかないですね！）
- 永野文雄会員（CKB野球部担当の先生方NPOの高橋ひろ子様、よろしくお願いします。CKB大会の成功を祈ります。）
- 金田昇会員（青木先生はじめCKB実行委員会の皆様ようこそ。大会の成功をお祈りいたします。）
- 石川格子会員（先日は、親子で納涼例会お世話になりました。夏休みの良い思い出となりました。）
- 山縣栄寿会員（本日も元気にスマイルありがとうございました。8月もよろしくお願いします。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 7月26日 二本松RC交流戦
居川孝男、運天直人、高島裕、鶴丸彰紀、成井正之、吉田充、吉野敬之、中嶋一貴、市川正人、堀田一彦、諸橋和典

▶第1863回例会出席状況

(R7年7月31日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	16名
Ⓔ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	42名
Ⓕ = ① - (② - ⑥)	70
④ = ③ / ④ × 100 (例会出席率)	60%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、またお暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。本日お客様いらしてますので、お客様のご紹介をさせていただきたいと思っています。「NPO西の郷スポーツクラブ」の副理事長でいらっしゃいます高橋ひろ子様。

そして、県南チャレンジベースボールの役員の先生方です。本日の例会は青少年奉仕委員会の担当が今年で12回目になりました県南チャレンジベースボール大会の先生方の卓話と、そしてですねここ昨今いろいろ問題になっております部活動の問題の部分を高橋さんのほうにいろいろお話をさせていただくということになります。この県南チャレンジベースボール大会は12年前、前原会長の時に始めていただいて、先生方も沢山代わりましたし、子供達も当時20チーム参加チームがあったと聞いておりましたが、今年は16チームになって合同チームという形になったり、この間も夏の高校野球の福島予選見てましてもやはり合同チームというんですか、混成チームなんかってのも出たりしながら、だんだんその部活動だったりそういう活動の取り組みだったり、参加する生徒というのもどんどん時代によって様変わりするような時代になってきていると思いますので、そういったところを高橋さんのほうから今日は地域に指導を移管するというようなお話になってくるかと思いますが、そういった部分も含めてこれからいろいろ考えなくちゃいけない時代になってきているんだなと思います。

私共ロータリークラブも県内で60クラブあるということですが、やはり1クラブ減少するということになります。20～30年前は多分ロータリークラブも産めよ増やせよでどんどんクラブが増えてったと思いますが、少子化も含めたり世の中の情勢も含めたりしながら、ロータリークラブの数も少しづつ減少傾向にあるというのはちょっと否めないのかなと思います。会員数に関しましても、どうしてもクラブ全体からしても減少傾向にあるということですが、幸いにして私共白河西ロータリークラブは増加基調にあるということで、その秘訣はやはり皆さんの先輩と新しい会員の方沢山交流があって、とても仲良く友好的に進めているのが何よりかと思っています。ですので、会員の親睦という部分はこれからも大事にしていきたいと思っています。そして、皆様のロッカーにこちらの年次計

画書、年次報告書が届いてると思いますので、こちらのほうも毎年ながら渡部さん大変ご苦労していただきまして作りしましたので、是非お目通しいただければと思います。それでは、本日もいろいろな卓話と先生方から一言づつご挨拶。そして、支援金激励金の授与という形で例会進めていきたいと思いますので、本日もよろしくお願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

○国際ロータリー第2570地区深谷ノースロータリークラブ：年次計画書（2025-26）送付のご案内

○公益財団法人ロータリー日本財団理事長 千玄室：確定申告寄附金領収証についてのお願い

○公益財団法人 日本盲導犬協会：盲導犬くらぶ

○泉田ガバナー事務所：2025-26年度 8月・9月の予定について

○国際ロータリー第2530地区青少年交換委員長 藤田元：青少年交換プログラム志願書 菊池藍子氏

○第1、第2、第3地域 地域リーダー各地域ガバナー：クラブサポートミーティングのための2025-26年度月々実績入力をお願い

○国際ロータリー日本事務局：寄附金

○ロータリー文庫運営委員会委員長 小倉純夫：文庫通信のご案内

○白河ユネスコ協会会長 小野利廣：「2025年度東北ブロック・ユネスコ活動研究会福島大会in白河」の開催について（通知）

○国際ロータリー第2530地区 2024-25年度ガバナー 早川敬介：ガバナー月信最終号発行のお知らせ

■各委員会報告

●シスター委員会

十文字光伸委員長



皆さん、こんばんは。シスター委員会の十文字です。私のほうからご報告をさせていただきます。既にご案内させていただいております8月8日の米沢中央ロータリークラブの公式訪問の件ですが、締め切りは明日までとなっておりますが、現在まだ8名の参加のみとなっております。本年度は40周年、次年度はガバナー輩出年度。また米沢中央ロータリークラブの会員の皆様の交流できる貴重な機会と思いますので、本日改めて各皆様のほうに参加の確認をさせていただきますので、是非ご参加の程をよろしくお願いいたします。

●出席委員会



長克則委員長

皆さん、こんばんは。出席委員会の長でございます。出欠ボードのほうの番号を、ちょっとリニューアルをさせていただきまして、会員名簿の順番に変更させていただきましたので、今まで欠員、欠番とかあったのも全部同じように順番どおり名簿どおりに移動しましたので、間違いがないか会員の皆様に一度確認をいただきまして、もし間違い等ありましたら事務局でもかまいませんので申し出ていただけるように確認のほうをお願いいたします。

■本日のプログラム

●青少年奉仕委員会担当



島田修一委員長

皆さん、こんばんは。わたくし今年度、青少年奉仕委員会委員長の島田と申します。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。今日の例会では、私達白河西ロータリークラブが第1回大会から支援しております、今年で第12回となるチャレンジ県南ベースボール略してCKBと申しますが、中学校野球大会が来月8月23日24日、泉崎「さつき球場」で開催されます。そこで今回、CKB実行委員会の先生方5名にお越しいただき大会への熱い思いを話していただくと共に大会の成功を願いたいと思います。それに先立ちまして、現在教職員の方々の働き方改革、また生徒さんたちの多様なニーズに対応するため、中学校部活動の地域移行が進められています。そこで、西郷村スポーツ協会副会長、NPO法人「西の郷スポーツクラブ」副理事長、西郷村部活動地域コーディネーターであります高橋ひろ子様には部活動の地域移行について、そして現在の状況、我々が協力できることなどお話ししていただくと思います。

●NPO「西の郷スポーツクラブ」副理事長



高橋ひろ子様

皆さん、改めましてこんばんは。只今、身に余るご紹介をいただきましたNPO法人「西の郷スポーツクラブ」副理事長を仰せつかっております高橋ひろ子と申します。ちょっと風邪をひいて皆さんにお聞き苦しい点あるかと思いますがご了承いただきましてお付き合いいただきたいと思います。今日は、他面におい

てご活躍されている皆さんと同席をさせていただき、お話をさせていただく機会をいただきましたこと心から感謝申し上げます。今日は題材として今、時の話題となっております部活動地域移行についてお話をさせていただきたいと思います。まず初めに、部活動の地域移行とはということなのですが、もう皆さん聞き慣れた言葉かなと思うんですが、中学校の部活動を地域の文化スポーツ団体等がはじめに部活動の地域移行として中学校の部活動を地域の文化、スポーツ団体等が行う行動に移行していくということで、子供達が多様な活動を経験できる機会と、少子化の中でも将来に渡り活動を継続して取り組むことができる環境の整備を進めるものです。西郷村は西郷村のやり方でっていう教育長の強い思いもありまして、本村の中学校部活動を取り巻く現状では、3校の令和6年2月1日現在の生徒数は562名でありここ10年で減少傾向にあります。また、令和16年には488名と14%の減少が見込まれております。私の、皆さんもそうですけど、住んでいる西郷村の地域移行の取り組みのスタートは令和5年8月に地域移行検討協議委員会が発足され、構成委員として、福島大学准教授蓮沼先生を始め、村の社会体育関係代表者、村内3校の中学校の校長先生、そしてPTA会長さん、行政より担当課長、職員26名で構成されております。しかし、先生がいらっしゃる前で申し訳ないんですが、毎年やっぱり先生方の人事異動により説明に行った年にも校長先生が代わり教頭先生が代わりと、また説明する私たちも一からの説明という形でなかなか前に進んでいけないのが現状です。その26名で構成された検討協議委員会の中で、会長に村のスポーツ協会会長が就任され会の運営が施行されました。第2回目の協議委員会時には村内の小学5～6年生、そして中学生、その保護者、教員の皆さんよりアンケートを取らせていただき、その結果をもとに検討会がおこなわれました。子供達の地域移行への期待や保護者の不安、希望の部活動を担当している先生方の負担に感じていたことを知ることができました。沢山の皆さんのアンケートで私達も知らない、私も自身中学生の子供がいないのでちょっとわからなかったんですけども、アンケートによって村の皆さんの声を知ることができました。3回目の協議会には、この事業をどの団体が業務委託するかについて検討されました。そこで、私の所属するNPO法人「西の郷スポーツクラブ」理事長小針孝廣が令和6年6月12日に村と委託契約が締結されコーディネーターとして私が携わることになり活動を開始しました。まずは、3校の中学校を訪問して先生方とヒヤリング。そして、住人、保護者へ地域移行

について全体説明会を2回開催しました。しかし、なかなか理解できない方が多く未だにかと思っております。多分、先生方も全体的に理解はないかなと思います。それで悩んだんですが行動を開始したほうが早いかなと思い、種目の選択、そして指導者の確保、練習場所の確保のできる4つの種目を開始しました。一つは、ゴルフ、水泳、陸上、野球を始めることに、大変余談になるんですが、私自身若い頃に地元の小学生のスポーツ少年団を13年間やっていた時の教え子たちが、この4種目の2種目を指導者となってきております。選択した理由としては、学校の部活に専属としていないものとさせていただきました。同年11月に4種目に対し村内の中学生の希望者の申し込みがあり、ゴルフは毎週土曜日の午後2時から「グランドエキシブ那須白河」ゴルフ練習場の那須コースをお借りして練習しております。水泳は毎週日曜日、午前10時から村民屋内プールにて練習をしております。野球は毎週日曜日、西二中グランドまたは追原にあるんですが屋内練習場などを利用して練習しております。陸上は毎週日曜日午前9時から、主に白河陸上競技場その他を利用して練習を行っております。指導者の皆さんはそれぞれに練習メニューをたてて指導にあたっていており大変感謝しております。追加としてなんですが、今年度2月より川谷中学校に指導者を派遣する形でバドミントンを始めました。まだ試験的な段階ではありますが、今年度5月に西二中と西一中の卓球の部活動の合同練習会を開催しましたが、大変生徒たちに好評で、この8月23日には第2回目を計画したいなと思っておりますのが現在の進行状況です。部活動地域移行について皆さんからの質問等がありまして、そのいくつかを挙げてみたいと思います。部活動の活動場所という問いに対しては、学校や公共の施設での活動を原則としていますということです。活動場所への移動手段はどのようなという問いには、徒歩や自転車での集合、または保護者による送迎をお願いしております。別種目への加入に対してはという問いに対しては、現在所属している部活と別種目のクラブ活動への参加もできますということをお答えをしております。その中でも、今のところちょっとスポーツの話ばかり言ってるんですけども、一番大変なのが文化部かなというのが私たちの課題になってます。文化部の場合は、活動場所として学校の音楽室を地域の指導者に貸し出す形になるため、警備システムの解除、鍵管理など管理上課題が多いのが現状でなかなか前に進めません。課題としてあとは怪我した際にはという問いもありまして、そのためには速やかに保護者へ連絡が取れる体制を取

ると共に、怪我の程度により処置や搬送の依頼等の対応をします。スポーツ保険の加入も義務付けてまいりますというお答えをしました。次に、大会参加についてはという問いがありまして、その問いには地域クラブとしては中体連や各協会主催の大会への参加は今年度は予定しておりませんということをお答えをしました。それでまだまだ地域移行に対しての問い合わせとか沢山あるんですけども、なかなか先生と私たちも連携がなかなか取れなくて、いつもいつも思うんですけども学校訪問していてもアンケートの中もそうなんですけども、今日おいでいらっしゃる先生方は本当に部活動に対して熱血な先生たちだと思うんですけども、アンケートの中には部活動に時間を取りたくないという先生もいらして、この地域移行が先生方の働き方改革のためだということもあると思うんですが、今、国で定めている年度までには何とか持っていきたいなとは思っておりますが、なかなか勉強不足なところがあって皆さんにご迷惑をおかけしております。

その中でも、指導者のやっぱり質がそちらもあると思うんですけども、あくまでも安い賃金で皆さんにお願いしてるので、保護者の皆さんが求めているアスリートという形には届かないと思うんですけども、地域移行はあくまでも地域の皆さんが見守るという形で中学生の子供たちを見守ってあげればいいのかないという思いもあります。そんな中にも指導者の皆さんには、講習会とかを計画してそこに参加していただいて、中にはそんな中の内容なんですけど消防署による救命講習会や、あとは県より指導者を派遣していただいて指導者の講習会などをやっております。また、西二中の部活動の野球のほう見ていただいている郡司さんはその方は部活動指導員の資格を持っているので、多分大会の引率もできるかなというのもあるんですけど、その資格を取るのには多額のお金もかかるし時間もかかります。本当に実際現職で働いていて、その中に時間を作っていただいて講師を受けていただき、資格を取ってもらおうという形で意気込みのある指導者も沢山います。そんな人を本当に拾い上げて沢山の皆さんに指導に携わっていただきたいなと思って声がけをしております。先生方も兼職兼務でできますので、是非ご協力をいただきたいと思います。その他にも指導者の質を上げるためにということで、今後の予定としては退職校長先生に生徒たちの扱い方や心理学的なものを講演を予定しています。国と県は改革推進機関として令和5年度から令和7年度までの位置づけとして支援しつつ、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すとしておりますが、本村においては各競技、各学校の

合意形成や環境整備等でばらつきは想定されるものの、子供達のより良いスポーツ、文化芸術環境を整備するためにも、学校や地域の実情に応じて令和8年度にはすべての部活動が休日の部活動の完全地域移行を目指しております。部活動のまだまだ本当にどこまでが問題なのかというのものもあるんですけども、本当に課題の多い地域移行ですが先程も申したように地域ぐるみで子供達を育て生徒が選択できる部活動の受け皿となれるように努力してまいりたいと思いますので、会場の皆さんのお力添えも是非よろしくお願いしたいと思います。それで大変申し訳ありません。今日ちょっと断りもなく会場に冊子を持ち込ませていただいたんですが、テーブルの上にある冊子なんですけど、今月の19日に小学生の学校対抗スナックゴルフ全国大会東日本大会がおこなわれました。震災があつてそこから東北の復興支援ということで「グランディ那須白河ゴルフ場」で開催されることになりました。開催当時は各小学校に出場の要請がありました。西郷は5校の小学校があるんですけども、各小学校に是非本村でやるので大会参加をしてくださいというお願いをしたんですが、なかなか学校では面倒が見れないということで、私たちの「西の郷スポーツクラブ」で5校の希望する子供達を集めて毎週土日「グランディ那須」さんの那須コースをお借りして練習をしております。学校ではできないということだったんですが、大会はあくまでも学校単位の出場なんですね。それで一応、西郷村は西郷村の予選会がありまして5校の選手が最低でも3名いれば大会参加できるので、3名校長先生にお願いして最低でも3名なので何とかチーム作ってくださいということでお願いして、5校の子供達が予選会には出れるようにはなりました。出場3校なんですけど、全国大会の時には出場する3校だけがその会場に出てくるんですけども、ちょっと地元開催なのに見ていただくとわかるんですけど、プロのゴルファーまで来て大会を盛り上げてくれるこの景色を予選落ちした子供達にも是非見せてあげたいなという思いがありまして、大

会事務局のほうにお願いをして予選落ちした子供たちに何か仕事を与えていただけませんかということから、プロゴルファーのキッズエスコートをやらせてくださいということで、予選落ちした子供たちはキッズエスコートをして大会の景色を見てもらって、来年に今度は自分達は選手で出たいという思いを見てみたり気持ちを持ってほしいという思いでやっております。地元開催でボランティアが70名必要で、最初本当に大変な思いをしてボランティアの皆さんにお願いしてやっていただいたんですが、今は本当にありがたいことに小学生の時にスナックゴルフをやって、中学生になると同じ那須コースでジュニアのゴルフもやっているの、自分たちは小学校卒業したら中学生になったら本物のゴルフのほうができるという同じ景色を見ています。そんなんで、この全国大会も卒業した子供達は当然のことながら、その父兄の方も毎年お手伝いに来ていただいて、このスナックゴルフとジュニアゴルフは延々と卒業した子、現役の子達が繋がってます。今は本当に毎年のことなんですけど、70名のボランティアは一日で揃えられるようになりました。そんな中で、本当に「那須グランディ」に小学校5校の子供たちが一緒に同じ場所で練習している。今、本当にこの問題となっている地域移行、まさしくそれかなという思いがあります。西郷は中学校3校ありますが、私の希望としては3校の子供たちが一緒になって切磋琢磨してスポーツに励んでほしい。文化系にも励んでほしいという思いは沢山持ってます。先程ご紹介をいただきました島田さんたちも指導している学童野球も同じような形でやっているのではないかなというので、西郷は他の市町村から比べてはちょっと地域移行は先行してやっているんじゃないかなと自負してます。それから、今皆さんの本当に参考にはなるかならないかわからないんですけども、本当に今の子供達って感謝の気持ちがまず一番ないっていうのが一番あるかなと思います。スポーツの場合は礼儀で始まって礼儀で終わるというのは、もう基本的に皆さんも私も小さい時からそういうふうに教わってきたような気がすると思うんです。私も子供達、孫のような子供達なんですけども、やっぱりその子供たちに感謝の気持ちを持ってほしいという思いから毎週土日お借りしている「那須グランディ」さん。やっぱりただで利用させていただいてるので、感謝の気持ちを込めて子供達とその保護者の皆さんで月に2回グランディさんにある練習場の球拾いの奉仕作業をさせています。そこで子供たちはキャディさんとか支配人の皆さんにいつもありがとうございますという挨拶をするようになり、やっぱりここで自



分達がやらせてもらってるんだという感謝の気持ちを持てるような子供たちに育てたいなという思いでやっております。ちょっとわかりにくい説明ですけどもお話だったと思うんですけども最後に私自身の教訓として多分野球の先生、私何年か前に野球の磯崎先生の公演させてもらった時あるんですけども、その時にもちょっと言ったかなと思うんですけども、自分の教訓として3つのCというものをずっと人生の中に持ってきたながら生きてきたんです。まず、Cって英語のローマ字のA B CのCです。一つのCはchance（チャンス）です。今日みたいにせっかく声をいただいたんだから、チャンスを生かそうって。二つ目のCは、チャンスをいただいたんだからchallenge（チャレンジ）しようって。三つ目のCは、チャレンジしたんだけどちょっと駄目だったかなと思ったらchange（チェンジ）しようっていう、その3つのCをずっと自分の中心の中の教訓として自分自身でそこに持ってきて、いろんな事を挑戦したりチェンジしたりしています。ちょっと長い時間をいただいたんですが、あんまり教養もないので皆さんにお伝え出来ること出来ないかなと思うんですが、本当に最後となりますが、本当に皆さんの力を借りなければこの地域移行、また行政の力もなければ地域移行の成功、持続可能な事業にはならないんじゃないかなと思います。私の友達もやっぱり同じくコーディネーターをやって、違うところでやってるんですけども、一番先一年ももたないうちにやっぱり辞めてしまいました。そこで何が原因でとなると指導者の借金です。指導者の借金が払えないということから、やっぱり地域移行やっていけない。ありがたいことに西郷村は行政が付いているので、何とか村の予算で地域移行を支えていただいているので、今のところは順調にやっていけます。本当に子供達を面倒見るのには大人の人の力がなければやっていけないというのもあるので、これから本当に中学生の子供達、3年間といっても中身2年間しか中学生は多分部活動に携われないと思いますが、その2年間の間に沢山の子供達がいろんな事を経験して次の段階に進んでいけるような受け皿を大人の私たちが作っていきたいなと思っております。本当にまとまりのない話で、またちょっと風邪をひいてお聞き苦しいお話だったと思うんですが、本当に貴重なお時間ご清聴いただきまして心から感謝します。ありがとうございました。

藤田龍文会長

高橋様、大変貴重なお話ありがとうございました。地域移行の話は私共もこう耳には入ってくるんですけ

れども、やはり私達白河市の在住なんですが、西郷村さん程こんなに進んでやってる感じは多分見てないと思いますが、是非ですねいろいろご苦労あると思いますが、この地域の地域移行の先駆者としてどんどん引っ張っていただければと思います。いろいろありがとうございました。



●CKB実行委員会実行委員長

矢吹中学校 青木哲也先生



改めまして、こんばんは。わたくしごとなんですが、令和7年度の人事異動の際に20年やらせていただいた中体連の地区の委員長、こちらのほうをこの人事異動をきっかけに若手に託したいということでお願いをし水野谷先生にバトンタッチをして今、県南地区の中体連野球専門部のリーダーシップを取ってもらっています。そんな中、実行委員長も水野谷先生に自分のほうは裏方でやることを尽力したいと思っていたんですが、今年度もやらせていただけるということなので、本当に身が引き締まる思いとこの大会、原点よく考えたら本当に熱い熱いいろんな人の後ろ支えがあって開催できた大会である熱意は後ろからずっと火をつき続けて後輩にずっと伝授していけたらなと思っています。今年度の人事異動等で一年ちょっと野球からは今離れて選抜チームのみの活動で協力しておりますので、自分のほうは大会の運営と審判で頑張っていきたいなと思っております。この後、本当に12回目を迎えられるということで、本当に随分時間が経ったんだなと思っていますし、その長い時間を本当にこうやって毎年のようにここでお話をさせてもらえてる事が自分の成長に本当に繋がって頑張らなきゃなという気持ちを皆さんからこういただいてまたスタートできることを大変嬉しく思っております。この大会も先生方みなで目一杯良い大会にして子供達や神奈川県の方や保護者、選手、本当に楽しみにして来ていただけて

おりますので、その火を消さないように頑張っていきたいと思いますので今後もよろしくお願いします。お世話になります。ありがとうございました。

●大信中学校

大平健先生



こんばんは。只今、ご紹介にあずかりました大平と申します。今年度から大信中学校のほうに移動しまして、そちらのほうでまた野球部持ちながら活動しているところです。毎年、本当にこの時期になってこの打ち合わせとかこの会に来させていただいて、そしてまた新しいシーズンが始まるなということを毎年感じながらと同時に、私らにとっては大会というのはその審判やったり監督やったりを繰り返して、言ってみれば自分たちの修行の場でもある大会になってるかなというふうにこう思ってます。そして、こういうんな後ろ盾をいただきながらその大会が彼らにとっての新しい代のスタートにもなっているところという位置付けになってるのかなとこう思います。最近、私も学校の先生になって30年ちょいになるわけなんですけど、こんな事をちょっと感じます。ジェネレーションギャップというんでしょうか。こっちが面白いなと思って言ったことが全く伝わらず、言葉もなかなかこう伝わりにくかったりするところあるんですけど、これも一つのやっぱり時代であって、そこにこうなんとかしていきける力というのが自分達には必要なかなと。これは野球にしても、普通の日常の学校にしてもそうなんですけども、そんなことを感じながらいるところです。本当にこの大会、大変お世話になります。よろしくお願いします。

●西郷第一中学校

水野谷亮先生



こんばんは。西郷第一中学校の水野谷と申します。今年度から青木先生のほうから県南地区の中体連の専門委員長のほうを引き継いだ形になりました。4月から約4か月間しかまだ経ってないんですけど、非常にもう青木先生の偉大さを感じています。いろんな大会の運営とかをやってるんですが、これをずっと20年間以上一人でやってたんだというふうに思うと本当に凄いなという気持ちしかありません。本大会、私が委員長なので私のほうがこういういろいろこう運営をしていかなきゃいけないんですが、私の力だけではどうしてもやはり運営等は難しい部分もありまして、青木先生

もやってくれるということなので、青木先生のお力も借りてこの12回のCKBの大会を盛大に成功させたいなというふうに思ってます。今、中学校の野球のほうは中体連のほうで石川義塾と棚倉中学校が優勝して東北大会に県南から2校出場する形になっています。その他の中学校は新チームになって、このCKB大会という大会は県南地区の中学校がすべて集まってやる多分開会式も行うという大会ないので、県南地区が集まってこう開会式も含めて大会やるという大きな大会になっています、このCKB大会というのは。私も初めて委員長になって、こういういろいろ運営等に関わってきてこのロータリーさんの支えがなければ本当にこの大会運営できないんだなというふうに改めてこの打ち合わせ等を通して感じています。子供達もこのCKB大会、開会式もあったり、あとは神奈川のチームが来たりと、いろんな経験もできるので非常に楽しみにしています。Tシャツのほうもいろいろ揃えたりなんだからすごい楽しみにしている大会なので、教員の私たちがまず運営のほうしっかりと頑張って良い大会に出来ればと思います。12回大会、良い形で成功を収められるように頑張りたいと思いますのでご協力のほうよろしくお願いします。

●白河第二中学校

村上徳信先生



改めまして、こんばんは。白河第二中学校、村上と申します。白河第二中学校3年目になりました。今年も野球を持たせてもらってやっています。これまで話あったように、本当にずっと野球をやり続けた青木先生ですら顧問が変わってしまうという、先程部活移行の話もありましたが、私達教員は3年から4年ぐらいの大体スパンで移動するので、なかなかお話が通りにくいというのはあって確かになと思っては聞いたんです。やっぱり顧問も私もソフトボール持った時もあったり、それぞれの先生ずっと同じのというのはなかなかないのかなと思います。それもあるので、本当に12回という大会を出来るというのは本当にロータリーの皆様のおかげがまずなければ多分なくなってたかなと思います。やっぱり部活動移行であれ、あとは教員私たちが作った大会であれ、長く続けるためにはやっぱり一つの輪っかでは難しんだなという。本当に外の指導員が必要だったり、あともちろんロータリーのようにこう援助していただける組織があって続くんだなって。それで12年間、本当に1回目から考えると、ああなんか時間経ったな、さっき水野谷から

あったようにとにかく県南全部のチームを行進させて大会させてあげたいというのが最初のスタートだったんですけど、それからこれだけ長い時間使って、一回野球から離れてまた戻ってきて、あっまだ出来るなこの大会っていうのを本当にありがたく感じています。白河二中としても新チームになってからの参戦になるんですが、今回は是非結果のほうも目指して戦っていきたいと思います。応援のほうもよろしくお願いします。

●表郷中学校



引地琳先生

改めまして、こんばんは。白河市立表郷中学校野球部顧問の引地と申します。今年度5年目になりまして、今年もまた野球部を持たせていただくということで、もう野球素人からだんだんと野球人になってきたなというのを感じている今日この頃です。わたくしごとの話しさせてください。昨年一年間は初めて単独チームとして背番号30、つまり監督を仰せつかったわけなんですけど、本当にいろんな人に支えていただいたというそんな実感はあります。例えばで言うと、うちの学校は本当に保護者さんが手厚くサポートしていただいて、外部コーチ入ってくださる方とかもいろいろと練習方法であったりとか、子供の接し方とか、先日そういったところでもアドバイスいただいたり、練習試合も審判も進んでやっていただいたり、あと僕がなかなか未熟なもので上手くいかない時に僕の話聞いていただいたり支えていただいたりというところで、本当に自分は幸せな環境でやらせていただいているなというのを感じます。そして、大会等に行くと先生方いろいろ励ましていただいたり、僕のバカ話を聞いていただいたり、それこそいろんな事を教えていただいたり、練習試合を組んでいただいたりなんていうことで、先程感謝と

いうことありましたが、本当にもう感謝しきれないというそういった状態になっております。本当に支えられてるというのを幸せに感じます。5年目なので支えられる感謝しなきゃいけない一方、自分が支える側にならなきゃいけないという実感も最近があります。なので、今回もCKB大会も自分でやっぱり運営等もやっていかなきゃいけない、支えなきゃいけないというふうなことを感じています。そして今回も、いろいろな仕事を仰せつかりまして一つ支えになったらいいかないと考えています。今年のTシャツデザイン、2年連続でわたくしが担当させていただきました。どんなデザインかはまだちょっと企業秘密なのですが、是非当日着ているデザインで、あつ引地が作った物なのだと感じていただければ、幸いです。そしてもう一つ、歌です。昨年も国歌と「栄冠は君に輝く」を歌わせていただいたんですが、保護者の方からいろいろあんなこと出来るんだねなんていうふうに言われたり、他の学校の保護者さんからも国歌良かったよなんて言うていただけて、なんだかちょっと恥ずかしさもありちょっと嬉しさもありなんてことで、今年も何かしらやらせていただきます。是非これで滑ったらもうそこは笑っていただいて、是非その大会の開会式で本当に良い大会になるよう支えたいというその一心で頑張りたいと思いますので、当日はお世話になります。よろしくお願いします。

●青少年奉仕委員会

島田修一委員長

ありがとうございます。それでは皆様、8月23日24日、CKB中学際野球大会開会式では、藤田会長による160キロの始球式もございますので、皆さんのご参加をお待ちしております。以上で、青少年奉仕委員会の担当例会をさせていただきました。ありがとうございました。

